

学会ニュース

日本ヘルスプロモーション理学療法学会 第15回学術集会 演題募集要項

1. 開催要項

【大会テーマ】 基礎研究とヘルスプロモーション

【日 時】 令和7年11月16日（日）

【大会長】 田中 真一（令和健康科学大学 准教授）

【会 場】 令和健康科学大学

2. 演題募集期間

令和7年5月1日～8月30日

- ・ 期間内に下記のメールアドレス宛てに、メールにて演題登録を行ってください。
- ・ 演題を登録されますと後日確認メールが登録のメールアドレスに届きます。確認メールが届かない場合は、演題登録などが正確になされていない可能性がございますので、ご連絡ください。
- ・ 採択結果は、後日メールにて通知いたします。

3. 応募資格

発表代表者は、原則として正会員に限ります。

正会員でない場合は、「日本ヘルスプロモーション理学療法学会」へ入会の手続きを行ってください。

4. 演題登録要項

1) 口述発表のみ。

2) 原稿について

演題名・著者名・所属・抄録本文は、必ず OS：Windows，アプリケーション：Microsoft Word（Word 以外での投稿は受け付けません）で作成してください。

抄録本文は全角500字以内（演題名，著者名，所属を除く）で作成してください。原稿サイズは A4 版。フォントは MS 明朝，文字サイズは 11pt とします。また，余白などに関する指定はありません。作成した抄録は，下記 6) のメールアドレス宛てに添付ファイルで送付してください。演題投稿の際には，著者名・所属・連絡先を必ず明記してください。

3) 演題名は50字以内，副題は40字以内で作成してください。

4) 登録可能な最大著者数（筆頭著者＋共著者）：10名まで，投稿可能な最大所属施設数：10施設まで

5) 原稿を作成の際は，下記見本を参考にしてください。

6) 演題登録・問い合わせ先

令和健康科学大学リハビリテーション学部理学療法学科 野中 嘉代子

〒811-0213 福岡市東区和白丘 2-1-12

E-mail：k.nonaka * kyoju.ac.jp（スパムメール防止のため @ を * にしております）

TEL：092-607-6701

※見本

地域在住高齢者の身体・認知・心理機能に及ぼすウォーキング介入の効果判定
—無作為割り付け比較研究—

福岡市子（〇〇大学），和白学郎（〇〇病院）

本研究の目的は、地域在住高齢者を対象にウォーキングによる運動介入を行い、その介入が身体・認知・心理機能に及ぼす効果について、無作為割り付け比較試験により検討することである。対象は、地域在住高齢者69名（平均年齢72.0±4.4歳）とし、快適自己ペースでのウォーキングによる運動介入前後の身体・認知・心理機能を比較検討した。その結果、週3日、1回30分のウォーキングを12週間継続できた介入群25名（脱落者：10名）の測定値は、介入後6分間歩行距離が有意に延長し、主観的健康感、生活満足度、生きがい感といった心理面の有意な向上が認められた。一方、その他の指標とした上下肢筋力や立位バランスなどの身体機能、および認知機能には有意差は認められなかった。なお、統制群29名（脱落者：5名）におけるすべての測定値に有意差は認められなかった。これらの結果から、快適自己ペースでのウォーキングは、地域在住高齢者の介護予防や健康増進に有用である可能性が示された。ただし、身体機能や認知機能を向上させるためには、本研究における介入の期間や頻度、および運動強度などの検討がさらに必要であることが明らかとなった。

5. 演題の採否通知について

演題登録時に入力いただきましたメールアドレスへ、9月に採否通知をお送りする予定です。

6. 発表形式について

- 1) 発表時間は10分、質疑応答は10分です。
- 2) 発表用コンピューターはOS：Windows 10、プレゼンテーションソフト：Microsoft PowerPointを用意します。（Macintoshは用意していません。変換コネクタが必要な方は準備をお願いいたします。）
- 3) 動画、音声出力は対応いたしません。ご了承ください。

7. 演題登録についての注意事項

- 1) 登録締め切り後の原稿の変更および共著者の追加、変更は一切できません。重要な共著者が漏れているようなことのないよう、十分に確認ください。
- 2) 機種依存文字の使用は避けてください。機種依存文字のチェックの際は、<http://www.submit.ne.jp/tool/uniquechar/check.html> などをご使用の上、ご確認をお願いいたします。

日本ヘルスプロモーション理学療法学会2025年度 夏季研修会

企画担当：山崎 先也（西南学院大学）

近年、中高年の登山者は増加しており、登山ブームとも言われております。高地では、呼吸循環器系の活動亢進、糖代謝の抑制および脂質代謝の亢進が報告されており、呼吸循環器系の機能強化、肥満治療や疾患改善効果が期待されています。しかしながら、一方で、中高年者の登山時における突然死の相対危険率は、ランニング時より高いことが報告されています。今回、2000～3000m級の高地（低酸素）曝露時における、動脈血酸素飽和濃度、心拍数、血圧、自律神経機能、唾液アミラーゼ酵素などを計測し、安全な登山について考えてみます。

日時：2025年7月5日～6日

7月5日（土）：10：00 立山駅出発、

室堂到着後データ計測

雷鳥荘（宿泊予定場所）

18：00 研修会（高地曝露時データを用いた話題提供とディスカッション）

21：00 研修会終了・就寝

7月6日（日）：早朝より登山 開始（剣御前～雄山の縦走）午後下山

下山までデータ計測、下山後データ解析（富山市内宿泊）

参加登録費：5000円

立山連峰の全容



申込期限：2025年4月20日

お問い合わせ先：京都橘大学健康科学部

村田 伸（murata-s@tachibana-u.ac.jp）